

大気環境学会関東支部 科学コミュニケーション部会  
研究会

＜経験を活かすヒントを考える＞

「PM<sub>2.5</sub>」

私たちが調査や研究に携わる大気環境問題の中でも、特に社会的な影響や反響が大きい問題については、行政や事業者、メディア、市民・国民などに向けてどのように情報を発信するか、どのように連携・協働していくか、といった科学コミュニケーションが重要となります。本研究会では、これまでに起きた具体的な問題に焦点を当てて振り返り、その経験から反省点や課題、評価できる点などを議論し、現在取り組んでいる問題、あるいは将来起こり得る問題に生かしていくヒントを考える機会を企画しました。今回は「PM<sub>2.5</sub>」を取り上げます。ご関心のある方はぜひご参加ください。

日時： 2022年11月29日(火) 14:00～16:20

場所： オンライン (Zoom)

対象： 大気環境学会会員（関東支部所属以外の会員も歓迎、法人会員 B・賛助会員・名誉会員も含まれます）、大気環境の調査・研究や行政に携わっている方

プログラム：

話題提供

- ・科学コミュニケーションの視点で PM<sub>2.5</sub>問題を振り返る  
長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）
- ・地方環境研究所の研究成果を行政的に活用していくためには何が必要なのか？  
—PM<sub>2.5</sub>に関する研究を例に—  
豊永 悟史（熊本県保健環境科学研究所）

ディスカッション

参加費： 無料

参加申込： 下記 URL に必要事項を記入して 11 月 18 日(金)までに  
お申し込みください。

<https://forms.gle/cA9dyCzgeQeKjduJ7> ⇒QR コード

開催日数日前に Zoom のミーティング ID・パスコードを電子メールで  
お知らせします。



問い合わせ先： 科学コミュニケーション部会長 長谷川 就一(埼玉県環境科学国際センター)  
e-mail: jsae.kanto.sc@gmail.com (\*をアットマークに変えてください)